

東京精神科病院協会誌（別冊 37 号）へのご寄稿について

1 協会誌名：東京精神科病院協会誌 別冊 第 37 回東精協学会特集

2 発行時期：令和 8 年 3 月（予定）

3 原稿作成・文字数

別紙「東京精神科病院協会誌（別冊 37 号）原稿見本」を参考に Word 形式でご作成ください。

文字数は **1,800～2,700 字程度（図表を含め、製本時 B5 判 3 頁以内）** を目安とします。

- ・応募時より変更がある場合は、協会誌原稿にも反映させてください。
- ・原稿が規定の 3 頁を超える場合は、文字縮小・行間調整・一部省略等をお願いすることがあります。
- ・共同発表者の追加・削除は原則不可とし、やむを得ない事情がある場合は、理由を添えて事務局までご相談ください。

4 原稿の承認

寄稿にあたっては、院内倫理委員会等の審査を経て、院長または所属長の承認を得たうえで、原稿末尾に承認者の氏名・職位を明記してください。また、誤字脱字や体裁の確認を、第三者によるチェックのうえご提出ください。

5 原稿締切：**令和 7 年 11 月 13 日(木)**

6 校正について

原稿は以下の手順で校正を行います。

①事務局確認 → ②執筆者ゲラ刷校正 → ③広報委員会による最終校正

※文章表現（語尾など）に修正が入る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※校正刷は令和 8 年 1 月頃に発表者宛に郵送予定です。

7 留意事項

- ①原稿提出は任意ではなく、発表者全員必須となります。
- ②情報管理のため、原稿送付の際はメールの件名に「病院名 氏名」を必ず明記してください。
※件名の記載がないメールは、サイバー攻撃対策のため開封いたしかねますのでご注意ください。

8 その他

当協会誌は文献検索サイトの J-GLOBAL に登録されており、タイトル等がインターネット上から閲覧可能です。

参考サイト：科学技術総合リンクセンター J-GLOBAL <https://jglobal.jst.go.jp/>

9 問合せ先及び送付先

一般社団法人 東京精神科病院協会事務局

Tel：042-352-0541

E-Mail：gakkai@toseikyo.or.jp

以上

□演題 A1-1□

見 本

演 題 名
ー サ ブ タ イ ト ル ー

東精協病院	看護師	◎東精協太郎	東精協花子	東精協次郎
	精神保健福祉士	東精協三郎	東精協四郎	東精協五郎
	作業療法士	東精協六郎		

(3名以上は改行)

1. 目的

(1) □□□□□□□□

□□□□□□□□

① □□□□□□□□

□□□□□□□□

② □□□□□□□□

□□□□□□□□

(2)

2. 方法

(1)

(2)

3. 結果

(1)

(2)

4. 考察

(1)

(2)

5. 総括

(1)

(2)

図表1 タイトル (左寄せ)

図表

※貼付データ以外に、PowerPoint や
Excel の元データもメールに添付し
てください。

<引用・参考文献>

- 1) 東精協太郎:診療報酬改定について.東精協誌,30 (132) :5-16,2012.
- 2) 厚生労働省精神保健福祉対策本部:精神保健医療福祉の改革ビジョン. 厚生労働省,2004.9,
〈<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/09/dl/tp0902-la.pdf>〉 (2012.1.10)
- 3) 東精協二郎,東精協三郎,東精協四朗 編集:米国精神医学会治療ガイドライン第2版.医学書院,2008.
- 4) Zubin J, Spring B: Vulnerability a new view of schizophrenia. J Abnorm Psychol 86 (2) :103-126,1977.

承認者名: ○○○○ 職位: 院長 看護部長 事務長 など

①演題名

- ・演題名は原則として、抄録原稿と同じ内容で記載してください。
- ・サブタイトルがある場合は「－」で区切ってください。

②氏名・所属

- ・演題名の下に、病院名・職種・氏名を記載してください。
- ・発表者および共同発表者は、原則として演題応募時と同様とします。変更がある場合は原稿提出時に理由を添えてください。
- ・発表者の氏名には◎印を付記してください。
- ・氏名は職種別に並列し、3名以上の場合は改行してください。

③見出し構成

本文は以下の順で構成してください。

- 1.目的
- 2.方法
- 3.結果
- 4.考察
- 5.総括

各見出し内の小見出しは、以下の順で番号を振ってください。

- ・ 1. 2. 3. (半角)
→ (1) (2) (3) (全角)
→ ① ② ③ (全角)

④倫理性への配慮

- ・個人情報の取扱いに十分留意し、各施設の研究倫理規程や倫理的指針に従ってください。
- ・患者・家族を対象とした研究では、インフォームドコンセントを十分に取得し、個人が特定されない表現にしてください。

表現上の注意事項

- ・固有名詞は「A氏」「B氏」等とし、イニシャルは使用不可
例：「東精協太郎氏」→「A氏」
- ・年標記は「X年」「X+2年」など相対表記を使用
例：「2007年7月」→「X年Y月」
- ・年齢・発達段階・居住地の例
「39歳」→「30歳代」
「0～1歳半ごろ」→「乳児期」
「13～22歳頃」→「思春期」
「神奈川県」→「A県」

⑤商標名について

- ・医薬品、補助食品、介護用品、医療機器などは商標名ではなく、一般名で記載してください。

例) 「タミフル」→「オセルタミビル」

⑥省略語の使用

- ・原則、省略語は使用不可ですが、演題名・本文中で3回以上使用される場合に限り可。
- ・初出時に「(以下、略語)」と併記してください。

例)「東京精神科病院協会(以下、東精協)」

略語例

用語	略語	用語	略語
看護師	Ns.	医師	Dr.
精神保健福祉士	PSW	作業療法士	OT
臨床心理士	CP	理学療法士	PT
言語聴覚士	ST	グループホーム	GH
統合失調症	S	浣腸	GE
訪問看護	訪看	他患者	他患
リハビリテーション	リハ	ポータブルトイレ	Pトイレ

⑦表記の統一

- ・本文中の英数字は半角で統一してください。
- ・年号は、和暦または西暦のいずれかに統一してください。

※⑨引用・参考文献の「発行年」は原本どおりに記載。

⑧図表の取り扱い

- ・図表は本文中に差し込み、PowerPoint または Excel の元データもメールで添付してください。
- ・タイトルは図表上部・左寄せで記入してください。
- ・個人情報を含む場合は、特定できないよう加工してください。

⑨引用・参考文献

- ・タイトル：<引用・参考文献>
- ・書式

「執筆者名(訳者名、編集者名):論文タイトル,刊行物名,巻数(号):ページ数,発行所,発行年.」

- ・著者多数の場合は3名まで記載し、以降は「他」「et al.」と記載してください。
- ・電子媒体のみの文献については、下記書式で記載。

「執筆者名:論文タイトル. Web サイト管理団体,掲載日,〈URL〉(最終閲覧日)」

⑩承認者名・職位の記載

- ・提出前に院内倫理委員会等の審査を経て、院長または所属長の承認を得てください。
- ・原稿末尾に承認者名・職位を明記してください。